

# 武蔵野市第六期長期計画最終案に向けての主要な論点整理

2019年7月5日

中村郁博

## I 全体を通じて

### 1 10年先に向けた夢が必要

- ✓ 武蔵野市の行政計画の最上位ということで、基本的に個別計画等からのボトムアップ後に抽象化を図るという手堅いフローにて作り上げてきた本計画案は、その弊害として、市民に対して10年先に向けた夢(ビジョン)を提示するという面が弱くなってしまっている。
- ✓ 委員においても、最上位計画という本計画案の重みにより、中立性を意識するあまりに、ポジションを取って良いのかという躊躇があるものとも思料する。
- ✓ 市民には、本市での将来の生活に明るい夢を持ちたい、という渴望感があり、それに応えていくことも本委員会への期待であることが確認された。
- ✓ キャッチコピー等の抽象的なものではなく、分野ごとに、この10年間に市民にワクワク感を持たせる象徴的プロジェクトの明記を提案したい。

### 2 長期計画の重要性の再定義

- ✓ ここまで、「長期計画に書かれていないことは施策として展開できない。」との武蔵野市が行ってきた対外的な説明に違和感を覚えてきたのは事実である。
- ✓ しかしながら、長期計画ほど、市職員も労力をかけ、無作為抽出ワークショップ等を重ね、市民意見を丁寧にすくい上げている行政計画はなく、また他行政計画で同様の取り組みを実施する余裕もないと思われる。
- ✓ 従って、長期計画こそは、武蔵野市が長年にわたり培ってきた武蔵野市方式の市民自治のあり方の象徴であり、その責任から逃げることなく、労力をかけ、市民からの批判にも向き合い、市職員と調整を重ね、ポジションを取っていく積極姿勢が重要であると、自分の考えを改めた。
- ✓ そして、この手間暇をかけて徹底的に市民意見を抽出し、今後の10年を考えるプロセスを5年に一度行っていくことの重要性は、広く市民とコンセンサスを図っていくべきと考える。

### 3 杞憂に終わったことの再評価

- ✓ 文化振興の重要性、クリエイティブ産業の振興、吉祥寺の知名度の都市マーケティングでの活用等は、委員会での議論と市担当課との調整の上、抑制的な方向への修正を加えての記載となったが、特段の反対意見も寄せられず、好意的評価であったと評価する。
- ✓ 反対が寄せられずに良かったという結果にするのではなく、自己抑制し、結果として適正な強度を図ることができなかつたとして評価するべきであり、最終案に向けて、より踏み込んだ記載も検討していくべきと考える。

## II 行財政

### 人口推計

意見：(市民、市議) P10 この推計が正しいのか分からない。

検討：推計値が1%ズレた時の再推計ルールを記載。

### 財政状態

意見：(市民) P12 財政力指数の良さが、どれだけのものか分かりづらい。

検討：市の財政力指数の平均値を記載。その他の工夫を検討。

### 市民意識調査

検討：ペンディングとなっていた P14 市民意識調査の時系列分析等による、武蔵野らしさ

と市への愛着の希薄化（背景には、人口の社会流入増）の記載。後述のシビックプライドの醸成の重要性へとつなげる。

#### シビックプライド

意見：（市民、市議）P20 プライドという言葉のイメージに違和感がある。

検討：「地域アイデンティティ」、「武蔵野美徳」という言葉への置き換えも検討。ただし、一般用語（市への愛着等）ではなく、象徴的キーワードへの置き換えは必要。

#### 財政出資団体

意見：（市民）P65 子ども協会は、市がやるべきことを出資団体に寄せているのに、一律に自立、見直しはおかしい

検討：記載ぶりを検討

#### 人材育成

意見：（市民）P66 育成を図る専門職に保育士も追記すべき。

検討：事実を確認の上、追記を検討。

加えて、岡部委員からの再三のご指摘の通り「ICTの活用と外国人対応についての人材の育成、確保に注力し、その体制の強化を図っていく。」の追記を検討。

#### ICT

意見：（市議）P65 ICTの活用を、注視ではなく、より積極的な表現にしていくべき。

検討：「ICTの導入については、費用対効果の観点、他市の状況等踏まえ、その活用と導入について積極的に取り組んでいく。」との表現を検討する。

#### 市職員の市内居住促進

意見：（市民）市職員の市内居住率が20%を切っている中で、コミュニティによる防災支援が重要

検討：これからのコミュニティ強化のため、地域アイデンティティの向上のため、シティプロモーションの草の根活動のためにも、市職員の市内居住についての助成制度の可否を検討。（経済合理性があり、市職員の質向上も期待）

なお、市職員を、市民と市政をつなぐメディアとして積極評価し、その観点からも重要な施策として検討していくべきかと提案。

#### 財政シミュレーション

意見：（市民）P77 図表は違うが、結論は同じ。

（市民、市議）シミュレーションの掲載そのものが誤解を与えるので不要

検討：結論は、変わらない。表現ぶりに工夫の余地あるかを検討。

データにて論じていく姿勢を示すためにも、記載すべき。

意見：（市民）P77 持続可能な財政を維持していく、と言い切る。

検討：その記載を検討。

### III 平和・文化・市民生活

#### 地域社会と市民活動の活性化？

意見：（市議）P43（？）これからのコミュニティのあり方の大変革と、それにあわせた自治のあり方について踏み込んだ記載をするべき。

検討：重要な要素なので検討するべき。ただし、コミュニティがどのように変革していくのか予測ができず、仕組みを作るほかないか。（ただし、市職員の市内居住促進は、これに対する一定の解のように考える。）

#### 文化振興の重要性

検討：P44 グローバル化の進展は、社会を画一性、効率性、論理性の追求へと押しやっ

くが、人々は、その補集合としての土着性、物語性、感覚性への欲求を増加させていく。これを満たすものが地域文化であり、都市ブランディングにとり最重要なものである。従って、この地域文化の発掘、磨き上げは、これからの都市にとっては最重要課題であり、本計画においても、より文化振興の重要性を強調した記載とすべきと思料する。

#### クリエイティブ産業

意見：(市議) P47 クリエイティブ産業への期待は大きい。

(市議) パティシエ等も武蔵野市が優位性を持つクリエイターだと認識した。

検討：「服飾デザイン、和洋菓子、建築設計、演劇関係等、文化とも密着したクリエイティブな活動は、本市の特徴であり、その実態の把握と新たな産業への発展について検討していく。また、映画・音楽・アニメーション・漫画等のコンテンツ・・・」と、クリエイティブ産業の可能性をより正確に発信する表現への変更。

## IV 都市整備

### 景観

意見：(市民) 吉祥寺の景観が乱れており、シビックプライドの観点からも問題。

(市議) 武蔵境の景観も乱れている。

検討：P54 景観ガイドラインではなく、景観条例を目指す追記

### 道路

意見：(市民) P58 生活道路への流入車両について、法令順守の徹底を記載すべき。

検討：記載を検討

### 吉祥寺グランドデザイン

意見：(市議) P60 吉祥寺グランドデザインの位置づけが不明確

検討：吉祥寺グランドデザイン、ネクスト吉祥寺、そして長期計画の役割を整理の上、記載。吉祥寺の課題について、各計画に付け回さず、早期かつ確実に対応していく仕組みを明記する。

### 武蔵野公会堂

意見：(市議) P60 武蔵野公会堂について、一定の方向性を示すべき。

検討：長計委員会として、「武蔵野市が誇る都市文化の象徴的施設としての再整備を進める。」と打ち出す。

### 先進事例

意見：(市民、市議) 武 3.4.27 号線、景観ガイドラインの作成など、先進的に行ってきた市民協働型都市整備については書いていくべき。

検討：記載を検討

以 上